

がまごおり

問合せ 企画広報課 ☎66・1162

市民。パワー。爆発中

市民（ボランティア・NPO団体、企業など）の皆さんの社会貢献活動は、「協働のまちづくり」にかかせないものです。幸い蒲郡市には、たくさん元気な市民がいて、いろいろな場面や分野、地域でパワーを発揮しています。

そこで今回は、今年創設された「市民企画公募まちづくり助成金」を受け、新たなステップを踏み出した4つの市民。パワーをご紹介します。



理屈抜きに楽しむ アートを通じた交流

ゆかいなアートのスペース

代表 川合 久子

私たちは、音あそび・絵あそびを通して、主に知的障がいのある子どものたぐいまれな感性や表現力を引き出していくお手伝いをしています。現在、毎月第1・3土曜日の午前10時30分から正午に、浜町福祉センターで紙芝居作りやみかんの木をつかったリズム遊び、いやしのレゲエダンスなどのドリルワーク

をやっています。障がいのある子・ない子、学校が好きな子・きらいな子、子ども・おとな、どなたでも参加できます。お気軽にどうぞ。

昨年11月の福寿稲荷ごりやく市では、蒲郡東高校写真部さんと一緒に「コラボギャラリー」を開催しました。そのときに展示した紙芝居「アリスさんの会議（原作…おはなしすきたろう）」16枚は、現在、西浦商店街7店舗で飾っています。子どもたちの絵が、街に潤いをもたらしてくれらるでしょう。また、テレビで活

躍中の「あいので」さんを招いて、「あいのでさんと遊ぼう！」を計画しています。詳しくは「ゆかいなアートのスペース」ブログをチェックしてくださいね。

今後の目標は、仲間を増やしていくこと。また、市内の音楽団体や絵画グループとの交流も広げて行きたいと思います。障がいのある人にやさしい街こそ、人にやさしい街です。

障がい者福祉を広く市民の皆さまに理解してもらえるよう、どんどん街へ出て行きたいと思えます。



蒲郡の豊かな自然を 里山を守りたい

さがらの森もりクラブ

代表 原田 芳典

蒲郡には、海や山といった豊かな自然があります。しかし、当クラブの里山である「さがらの森」を含めた蒲郡の山が、竹によって

侵食されつつあります。竹は、放置しておくと、それまであった樹木を枯れさせながら、竹ヤブを拡大させていきます。また、植物だけでなく、野鳥や昆虫などの動物の生活すら奪ってしまいます。

そこで、伐採した竹により竹炭や竹酢液を作るなどの有効活用を考えることで、里山保全につなげていきたいと考えました。

竹炭を作成するうえで重要なのが炭焼窯です。しかし、きちっとした窯を作製するには相当の費用がかかるため、炭作りのご指導をいただいている田口高校の生徒考案によるドラム缶の炭焼窯を作製することにしました。

市民企画公募まちづくり事業の助成を受け、9月からさがらの森に窯の土台や作業所の小屋を作りな



がら、炭材の竹切りを行います。11月には炭焼窯3基を作製し、12月9日に待望の火入れ式を開催。現在、竹炭作りの先駆